

伊達市やさしい心がかよいあう

手話言語条例可決

みんなの 市議会

伊達の歌碑を尋ねて 第七弾

乾小路の歌碑（乾町東通り沿い）

父と唱えてものものの
根ざしとなるも 乾よりして

天にたえ

天にたえ 父と唱えて
ものくの根ざしと
なきも乾よりして

明治四年 佐藤脩亮詠

平成元年八月吉日

乾契約会建立
乾自治会 建立
伊達郷史研究会
片平珠風書

2017.2.1
第85号

関係者の皆さんと記念撮影



平成28年第4回定例会は、12月2日から15日まで行われました。

今定例会では「伊達市やさしい心がかよいあう手話言語条例」をはじめ議案29件、報告2件について説明を受け、本会議や委員会で審査を行いました。

◎主な議案は…

- 財産の無償譲渡について
- 指定管理者の指定について
(伊達市観光物産館及び黎明観、大滝交流施設、まなびの里パークゴルフ場)
- 伊達市やさしい心がかよいあう手話言語条例
- 伊達市大滝区定住促進住宅条例
- だて歴史の杜カルチャーセンターライフセンター条例の一部を改正する条例など
審議内容については、9～12ページの委員会報告をご覧ください。
- 平成28年度伊達市一般会計補正予算(第7号)

7億1,845万8千円を追加し、歳入歳出の予算総額は**202億2,436万2千円**となりました。

12月7日に予算決算常任委員会を開催し、各会計の補正予算について質疑を行い原案のとおり可決しました。

審議内容については、13ページの委員会報告をご覧ください。

- 平成28年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
7,000万円を追加し、歳入歳出の予算総額は56億1,313万9千円となりました。
※一般被保険者に係る高額療養費が見込みより多かったことに伴う増額。
- 平成28年度伊達市下水道特別会計補正予算(第3号)
72万3千円を追加し、歳入歳出の予算総額は17億4,734万6千円となりました。
※平成27年度決算に基づく確定申告による消費税納付が確定したことによる増額。

◎最終日に上程された追加議案



- 損害賠償の額の決定並びにこれに係る和解について
大滝区における下水道本管の閉塞により逆流した汚水が民間会社所有の建物の内装、設備等に損傷を与えたことに対する賠償について、損害賠償額を**833万9,455円**とするもの。
- 平成28年度伊達市下水道特別会計補正予算(第4号)
上記損害賠償に係り、**834万円**を追加し、歳入歳出の予算総額は**17億5,568万6千円**となりました。
なお、この損害賠償は建物損害共済金から支払われます。

第4回

定例会概要

第2回

臨時会概要

11月15日に第2回臨時会を開催しました。

今臨時会では、8月30日の台風第10号による災害復旧費**1,753万3千円**の専決処分の承認をはじめ、議会の議員の議員報酬等や、市長等及び職員の給与に関する条例の一部を改正する条例や一般会計補正予算など議案10件を審議し原案のとおり可決しました。

特に、台風による被害は甚大で、公共施設に関わる倒木枝折処理が234本、道路復旧工事、河川護岸復旧工事などが急ぎ行われたことや山下町D型倉庫の屋根が剥離したことにより建物や車両などに損害を与えたことによる賠償などがありました。

このほかに補正予算では、**年金生活者等支援臨時福祉給付金900万円(3万円×300名)**の増額がありました。



他団体会議報告

○第2回定例会
平成28年10月3日(月)、伊達市消防・防災センターにおいて開催され次の

▽国本 一夫・山田 勇
▽田中 秀幸
報告 田中秀幸
西胆振 消防組合議会

○総務常任委員会
平成28年11月24日(木)メルトタワー21において開催され、次の事項について報告があつた。
(1)訴訟経過について
(2)西胆振地域廃棄物広域処理施設整備比較検討報告書(案)について

▽吉村 俊幸・阿部 正明
寺島 徹
報告 阿部正明
西いぶり 広域連合議会

- (1)平成27年度一般会計歳入歳出決算について認定。
(2)専決処分の承認を求めることについて(平成28年度一般会計補正予算)承認。
(3)平成28年度一般会計補正予算について可決。

○例月出納検査報告
例月出納検査は9月26日(月)、
月25日(火)、11月24日(木)、
(木)の4日でした。
監査会委員会 原見正信
監査委員

○第3回臨時会
平成28年11月24日(木)、伊達市消防・防災センターにおいて開催され監査委員の選任について、豊浦町議会議員の大里葉子氏の選任に同意し、次の案件を審議した。
(1)西胆振消防組合職員の給与に関する条例の一部改正する条例について可決。
(2)平成28年度一般会計補正予算について可決。

一般質問

第4回定例会（12月8日・12月9日）

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。



吉野英雄
無会派

長通知による市の対応を問う。

答弁▼保護者への周知や認定、支給時期を前倒しする等の措置のほか、生活扶助基準見直しに対応し、準要保護世帯の認定係数を生活保護基準の1・3倍未満とした。

質問▼コミュニティ・スクールについて、全国の教訓から伊達市としてどのように進めるのか考え方を問う。

答弁▼学力向上や生徒指導上の課題を学校、家庭、地域の連携で解決した事例が見られる。

校長のリーダーシップのもと、学校や地域の特性に応じた特色ある学校づくりを目指す。



新しい旅立ち入学式



辻浦義浩
新政クラブ

質問▼青少年に対する表彰について。

答弁▼青少年の健全育成や社会福祉活動、職場において職務に精励するなど地域社会づくりに貢献し模範になつた青少年への表彰等にどうお考えなのか問う。

答弁▼福祉的観点から、資金の貸しき付けなどを検討したい。

質問▼支給時期を入学に間に合うよう前倒しする考え方を問う。

答弁▼若い方が表彰されることで活動に一層の励みになることや人材育成のきっかけになると思うので十分議論していく。

質問▼みはらし団地の跡地活用について。

答弁▼人口減少対策の一環として、若い子育て世代への支援策、移住定住につながる土地活用について問う。

質問▼新末永団地の跡地活用について。

答弁▼この跡地は、医療関係施設やスーパーなどに隣接し、利便性が高い地区だと思うがどう活用していくのかを問う。

質問▼みはらし団地跡地の跡地活用について。

答弁▼子育て世代を対象とした宅地分譲や関連施設の建設候補地として検討。また、建設費の一部を補助するような支援策も全市的



子育て世代向けに宅地分譲や関連施設の建設候補地として検討されているみはらし団地跡地

質問▼就学援助について、道教育

答弁▼短期的な成果にとらわれず、中長期的な成果も見据え学校や学校運営協議会の活動を支援する。





新政クラブ

田 中 秀 幸

質問▼今後の小中学校適正配置基本方針等の考え方を問う。

答弁▼平成32年開始の学習指導要領の改訂など、子どもたちを取り巻く教育環境は大きく変化している。現在の基本方針等が社会情勢と齟齬を来していると考えており、「伊達市教育振興基本計画」に学校の適正な配置や規模について盛り込みたい。



建設中の「だて歴史の杜教育センター」

質問▼「だて歴史の杜教育センター」の将来展望を問う。

答弁▼安心・安全な給食の提供はもちろんのこと、市民の健康増進や伊達産食材のPRに資する事業や伊達市の健康産業の一翼を担う施設になるものと期待している。

※齟齬とは…
意見や事柄が食い違つて合わないこと。



新政クラブ

佐 藤 匡 則

質問▼プログラミング教育について問う。

答弁▼平成32年開始の次期学習指導要領において、プログラミング教育が導入されることとなるが、現時点では具体的な詳細情報が示されていないことからハードとソフト両面の準備を進めていく。

質問▼キャリア教育について問う。



恵庭市の中学校でのキャリア教育の授業のようす



質問▼農業担い手等の確保、育成について、現状の取り組みと今后の展開を問う。

答弁▼農業専門学校の卒業生の誘致を進めているほか、新規就農希望者が集まる新農業人フェアに参加し、冬野菜や春の早出し野菜などの特徴や住宅・生活などの支援策のPR活動を積極的に行い人材の確保に努めていく。

答弁▼小学校においては社会科見学、中学校においては職業体験をはじめとした取り組みのほか、「小中高のキャリア教育の取り組みについて相互理解を深めるとともに、学校・家庭・地域の連携を模索する中で身につけさせたいことを確認する」ことを目的とした、「伊達地区学校ネットワーク会議」を毎年開催し、小学校から高校段階までの貫したキャリア教育により、児童一人ひとりが社会的・職業的に



無会派
阿戸孝之

質問▼大滝区への移住定住を促す広報を伊達市ホームページに掲載する考えはあるか問う。

答弁▼移住定住については、伊達地区とは違った、地域特性を生かした切り口で、現在のページとは分けて発信していきたい。

質問▼教育の観点から移住定住を促す考えはあるか問う。

答弁▼莫大な費用や需要の面から、建設は現実的ではないと考えている。



公明党
渡辺雅子

質問▼高齢ドライバーによる交通事故が多発するなか、運転免許証自主返納時の助成制度について問う。

答弁▼全道35市のうち1市のみ助成制度を導入しており、高齢ドライバーの事故を未然に防ぐため、本市として促進すべき課題と考えている。

そのためには、日常生活の足となる交通手段の確保を図る環境づくりが必要なので、愛のりタクシーの利用促進などに取り組む。

現在策定中の第10次伊達市交通安全計画においても重点課題と位置づけ、一層力を入れて取り組んでいく。

質問▼カルチャーセンター大ホールのステージに昇降機を設置することについて問う。

昇降機については需要面、費用面、設置スペースなどを総合的に勘案して難しい。今後は需要頻度などの動向を見していく。



質問▼北湯沢温泉小学校跡地を利

用し、全天候型サッカー場を建設する考えはあるか問う。

答弁▼大滝区ではカナダ・レイクカウチン町との交流があり、国際交流職員を招聘し、異文化理解のための活動を行っている。

また、レイクカウチン中学生派遣事業も行っている。こうした活動も移住定住に向けたツールの一つになる可能性はあると考えられる。



質問▼車椅子利用者が登壇すると



青雲
小久保 重孝

答弁▼建物が約2倍となることから、かかる費用も約2倍となり、使用料も今よりも高くなると想定している。

また運営管理については指定管理者方式を想定している。



4年後の新設計画が示された伊達市火葬場



青雲
洞口 雅章

質問▼国民生活基礎調査によると、日本の子どもの貧困率は16.3%で6人に1人であり、ひとり親世帯にいたっては、54.6%で2人に1人と深刻な状況にある。

一昨年閣議決定された“子どもとの貧困対策に関する大綱”に明記されているように、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されず、世代を超えて貧困が連鎖することがないようにしなければならない。子どもの貧困対策の大きな柱の一つは教育である。

伊達市の子どもの貧困実態と、学習支援対策について問う。

答弁▼学校教育においても手話が言語であるという認識は大切なことと考えている。共に考えていきたいと思っている。

質問▼新火葬場のランニングコストと使用料、管理運営について問う。

答弁▼導入にあたってワイヤライ整備が課題だが、大滝区の小・中学校は既にワイヤライが整備されているので、現場の声も聞きながら検討してみたい。

質問▼タブレットなど最新端末の導入は使う側の情報リテラシーを学ぶことは大切だ。モデル校方式で導入する考え方について問う。

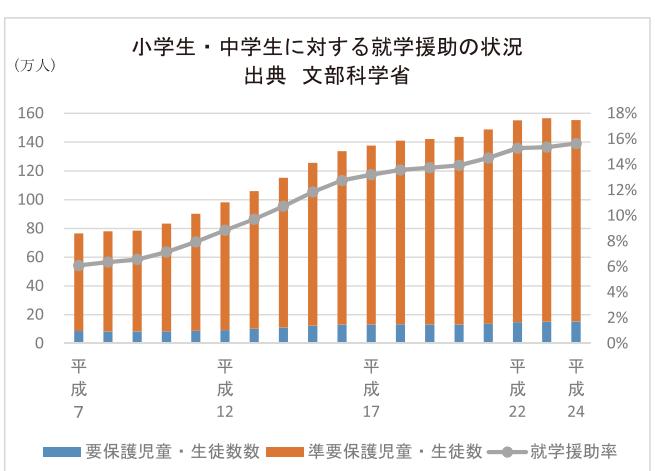
答弁▼導入にあたってワイヤライ整備が課題だが、大滝区の小・中学校は既にワイヤライが整備されているので、現場の声も聞きながら検討してみたい。



答弁▼本市の生活保護世帯で児童のいる世帯は16世帯、児童数29人である。ひとり親世帯における児童扶養手当受給世帯は379世帯、児童数581人である。

福祉部として貧困家庭の学習支援を平成29年度より実施できるよう検討している。

また、伊達西小学校校区において放課後子ども教室事業を実施すべく準備を進めていく。





答弁 安定持続可能な農業を目指すためには、農地の基盤整備と集積化が不可欠である。平成29年度から、関内と長和の2地区を対象に「国営緊急農地再編整備事業」に着手する。総事業費は190億円程度となる想定である。

質問 「観光物産館」について。5年目となる本年度の入込客数が130万人と予想される中、ポインカード事業データ分析等で約50%の65万人が市外からの利用客であることが分かった。

道の駅の機能をさらに充実させ、確実な観光振興の基盤固めを発展させるために、飲食業の方々の理解と協力を得ながら、多くの市民要望でもある伊達野菜を活用した、うどん・そば等の軽食コノナーを設置すべきと思うが、考え方を問う。

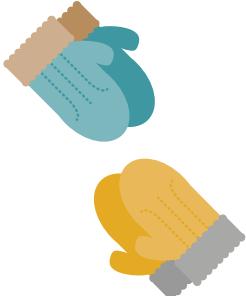
質問 「耕作放棄地」について。中長期的な振興対策の考え方と、法人化について問う。

答弁 地元飲食店等との調整があるが、イベント開催時の駐車場の確保と合わせて前向きに検討する。



市民クラブ

菊地 清一郎



《意見書》

各団体から提出された意見書は9件で、審査の結果、国に提出することとなった意見書は以下のとおり7件でした。各意見書の内容については伊達市議会HPをご覧ください。

結果	件名	提出者	新政クラブ	森派創生	市民クラブ	公明党	青雲
○	「全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律」の早期制定を求める意見書	公益社団法人北海道アイヌ協会	○	○	○	○	○
○	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	全国市議会議長会	○	○	○	○	×
×	過労死防止の抜本対策と労働基準法「改正」に反対する意見書	日本共産党 伊達市委員会	×	×	○	×	×
×	年金支給額抑制に反対し最低保障機能の拡充を求める意見書		×	×	○	×	×
○	子どもの医療費無料化を国の制度として創設することを求める意見書		○	○	○	○	○
○	「米政策改革」に対する稻作農家の不安を払拭し経営の安定と担い手経営の再生産の確保を求める意見書	公明党 伊達支部	○	○	○	○	○
○	地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書		○	○	○	○	○
○	ヒートポンプ給湯器の低周波音による健康被害の対策向上に係る意見書		○	○	○	○	○
○	安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書		○	○	○	○	○

関係機関へ提出まで…

- ①各団体から提出された意見書は会派ごとに審査⇒②議会運営委員会で協議
- ③3分の2以上の会派の同意により定例会に提出⇒④提出された意見書が過半数の賛成により議決
- ⑤伊達市議会の機関意志として国の各機関へ提出

※国の関係機関とは?⇒内閣総理大臣、衆参議院議長、各担当大臣など



委員長
辻浦義浩

議会運営
委員会

第4回定例会にあたり、議会運営委員会を11月30日、12月9日に開催した。
11月30日は第4回定例会の日程と議案及び一般質問通告の確認を行い、12月9日には意見書の取り扱いについて審査を行った。



選挙区条例を廃止するべき



委員長 国 本 一 夫

伊達市議会
議員選挙区条例
検討特別委員会

伊達市議会全員協議会

平成28年11月15日(火)

■市営住宅の家賃制度見直し (案)について

11月15日に当委員会を開催し、それまでの調査を踏まえて各委員が意見や考え方について述べ、12月9日の委員会において、「伊達市議会議員選挙区条例の在り方について」の結論を出すため「記名投票」により採決した結果、委員会として「選挙区条例を廃止するべき」との結論（委員長及び欠席1名を除く16票中14票）となりました。

特別委員会として結論が得られたため、調査が終了しました。

市営住宅の最も収入が少ない区分の家賃額が、生活保護受給者に支給される住宅扶助額を下回る（市営住宅の家賃が安すぎる）状況が現在も続いている。

また、市営住宅と民間賃貸住宅の家賃水準を比較すると、低所得者に対する市営住宅のセーフティネットとしての役割を鑑みても、依然として大きな格差が生じていることから、減免制度を含む家賃制度の見直し案の説明を受けた。

■伊達赤十字病院への財政支援について

伊達赤十字病院の経営状況について病院から示された平成28年度収入支出決算見込や平成28年度から「精神等特殊医療」に係る措置など特別交付税の算定方法の見直しについての説明を受けた。

から、仮算定結果などの説明を受けた。

■国民健康保険事業納付金の状況について

国民健康保険法に基づき、平成30年度から新たな制度に移行し、道が算定する市町村ごとの国民健康保険事業費納付金の額が、各市町村の保険料決定の基礎となること

老朽化が著しい伊達市火葬場について、新しい火葬場を1市3町（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）で共同整備する計画について説明を受けた。

■火葬場共同整備について

一部事務組合により共同整備し、概算整備費9億5千万円。建設費用の全額を伊達市が負担するが、西胆振消防組合の枠組を活用した

新火葬場施設概要

- ▶建設場所・・・伊達市上館山町63番地10
(現火葬場敷地内)
- ▶火葬炉数・・・3基
- ▶待合室・・・3室
- ▶敷地面積・・・14,328m²
- ▶建築面積・・・1,200m² (現施設512m²)

他の自治体の負担がないという点については、他の町にはまだ使える火葬場があり利用されていることや広域での取り組みでないと交付金が期待できないことなどが理由。
平成32年に運用開始を予定し、利用料金は今後の協議となるが、ランニングコスト分を貯める料金設定を検討しているとのことでした。
部事務組合により整備することで、道の交付金が期待できるとのこと。
また合併特例債も活用し、できるだけ市の持ち出しを少なくするよう他の助成金なども探していくとの説明があった。

委員会報告



総務文教
常任委員会
委員長 菊地清一郎

基金の統廃合によりその本数を減らし、基金の額をまとめることにより運用効率の向上を図るため、条例改正を行うもの。

■ だて歴史の杜カルチャーセンター条例の一部を改正する条例

答弁▼課税対象の軽自動車は1万572台で軽減対象は397台である。軽減される額は約130万円である。

■ 伊達市総合体育館条例の一部を改正する条例

質問▼条例改正後に大会を行う場合の料金はどのようになるか？

■ 伊達市総合体育館条例の一部を改正する条例

答弁▼現在、5時間までの上限があるが、利用形態にあわせて3時間まで、4時間まで、5時間までという3段階の上限を設定した。

■ 公の施設に係る指定管理者の指定について

質問▼「まなびの里パークゴルフ場」の運営を委託する管理者的指定について、議会の議決を求めるもの。

質問▼ここ数年の入場者数は、

審査の中では、

答弁▼平成26年度は3万437人、平成27年度は2万9080人、平成28年度は2万5327人である。

質問▼統廃合によって過去の基金の創設の経緯や目的はどのようになるのか。

答弁▼それぞれの基金について創設の経緯や目的を考慮し、基金残高は内訳で管理していく。

■ 伊達市税条例等の一部を改正する条例

質問▼地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、税条例等の一部の改正を行うもの。

質問▼ここ数年の入場者数は、

答弁▼平成26年度は3万437人、平成27年度は2万9080人、平成28年度は2万5327人である。

質問▼条例改正により、どのくらいの使用料収入となるか。

答弁▼平成27年度の決算実績に置き換えて計算すると、約56万円の増収となる。

■ まなびの里条例の一部を改正する条例

質問▼「使用料及び手数料の改定方針」に基づき、使用料について検討した結果、施設維持管理経費と受益者が負担のバランスなどを考慮して値上げする必要があるため、条例改正を行うもの。

質問▼ここ数年の入場者数は、

答弁▼平成27年度の決算実績に置き換えて計算すると、約550万円の増収となる。

■ 伊達市地域振興基金条例等の一部を改正する条例

質問▼現在の課税対象の軽自動車の台数と軽減対象台数は何台か。また、軽減される額はいくらか。

答弁▼「使用料及び手数料の改定方針」に基づき、使用料について検討した結果、施設維持管理経費と受益者が負担のバランスなどを考慮して値上げする必要があるため、条例改正を行うもの。

質問▼「使用料及び手数料の改定方針」に基づき、使用料について検討した結果、施設維持管理経費と受益者が負担のバランスなどを考慮して値上げする必要があるため、条例改正を行うもの。

質問▼条例改正後に大会を行う場合の料金はどのようになるか？

■ 審査の中では、

質問▼条例改正後に大会を行う場合の料金はどのようになるか？

■ 審査の中では、

■伊達市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

《10月28日(金)》

所管事務調査

★「さて歴史の杜教育センター整備運営事業」について

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」及び「地方公務員災害補償法施行規則」の一部改正に伴い、所要の条例改正を行うもの。

■伊達市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改定する条例

「一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律」の改正が閣議決定したことから、本市においても所要の条例改正を行うもの。

■伊達市立学校設置条例の一部を改正する条例

達南中学校を伊達中学校へ統廃合することに伴い、所要の条例改正を行うもの。
いざれも全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定した。

32年度までの5年間であり、交通事故等の現状や計画の位置づけについて調査を行った。

標と課題」というテーマを設け、現在の活動状況や今後の計画や活動などについて意見交換を行った。

質問▼交通事故の現状は。

答弁▼

- ・65歳以上の高齢者の死者数が高水準で推移
- ・16歳から24歳までの若者の死者数が大きく減少

- ・交通事故の死者数は10年連続で減少しているが、高齢ドライバーの事故の増加、飲酒運転による交通事故は減らない。

質問▼重点課題は。

今後も施設管理運営改善委員会を毎週1回開催し、改善点、苦情、要望事項の報告等を全職員が情報共有し、快適な運動環境の創出のために、きめ細かな管理運営を考えている。

質問▼地産地消や米飯給食の充実、調理施設の見学を行うほか、市民の食に関する研修・交流、栄養指導等の充実に努め、施設の有効利用を図る。

答弁▼地産地消や米飯給食の充実、調理施設の見学を行うほか、市民の食に関する研修・交流、栄養指導等の充実に努め、施設の有効利

- 用を図る。
- ・生活道路における安全確保
 - ・高齢化社会を踏まえた総合的な対策
 - ・飲酒運転の根絶
 - ・自転車の安全利用など

《11月21日(月)》

★「第10次伊達市交通安全計画」の策定について

「自主事業」「加入団体の活性化」業体について



がら対応していきたい。



■公の施設に係る指定管理者の指定について

「大滝交流施設」の管理を行わせる指定管理者の指定について。

■公の施設に係る指定管理者の指定について

「伊達市観光物産館及び黎明観」の管理を行わせる指定管理者の指定について。

審査の中では

質問▼新しい施設が建設される予定の中で、現在の黎明観をどのように活用していくのか。

答弁▼黎明観は、札幌の小・中学校に向けて教育旅行の誘致活動を行ったことによる施設利用が増えている。また、刀鍛冶工房は海外からの旅行者の来場者が増えている。



市道の路線認定の現地調査のようす

審査の中では

質問▼パークゴルフ場の利用者が減少しているが、指定管理者の工夫や努力が見られない。その評価が今回の低い評価点数に表れているのではないか。大滝総合支所としてどのように考えているのか。

手話により、やさしい心がかよいいう温かい社会の実現を図り、誰もが安心して暮らすことができる伊達市を目指すため条例を制定することについて。

審査の中では

質問▼手話通訳員の配置人数や協力員の謝礼をどのように考えているのか。

答弁▼手話通訳は特殊な技術を必要とし、人材確保は困難な面がある。また、協力員の高齢化もあり、活動の継続に向けて手話ができる

組織や雇用関係について大滝総合支所で指導等をしていきたい。

■伊達市やさしい心かかようあう手話言語条例



■伊達市大滝区定住促進住宅条例

大滝区における若年者の移住・定住対策を効果的に推進するため、大滝区定住促進住宅を設置し、その管理について規定する条例を制定することについて。

答弁▼大滝区では指定管理者を募集してもこの法人以外に応募がない。同法人は合併前から運営に携わっていて安定感はあるが、大型宿泊施設のリニューアルに伴う利用者減少などを見込んだ新しく対応すべき項目への意識が低いという意見がある。

高齢化という問題もあるが、組織や雇用関係について大滝総合支所で指導等をしていきたい。

質問▼市民への啓発活動はどうのようになっていているのか。

答弁▼耳の日（毎年3月3日）にあわせた啓発イベントの参加者数が芳しくない。来年は条例も制定されることもあるので、できるだけ多くの市民に参加してもらえるようホームページやチラシなどを利用して告知していきたい。

質問▼若い人を増やしていきたい。協力員への謝礼については、室蘭市や登別市と差があるので、人材確保のためにも同じレベルに増額していきたい。

審査の中では、

質問▼条例の中で、若年者向けの住宅であることが定義されているが、年齢制限の規定が入っていないのはなぜか。

質問▼条例全体で使われている「使用者」の定義が具体的なケースで確認しないと意味がわからない点があるが、条文作成にあたって何を参考としたのか。

答弁▼当初は年齢制限の規定を入れることを検討したが、過去3年間の入居者を調査した結果、20代の若年者の入居がほぼ100%であったこと、給与水準が比較的低い若年者を雇用している実態がはつきりしたことなどから規定を入れなかつた。

子育て世帯が定住するという趣旨と合致しない場合には受け付けないということも事業者に説明するなどの対応を考えている。



- ・伊達市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例
- ・伊達市立保育所条例の一部を改正する条例
- ・伊達市民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・伊達市下水道条例の一部を改正する条例
- ・伊達市簡易水道条例の一部を改正する条例

所管事務調査

12月13日に経済環境部農務課より「伊達野菜の知名度向上・ブランド化の取組について」の調査を行った。



伊達野菜直売会のようす

答弁▼他の事例を参考にして法制係（担当）にも確認しながら作成したが、具体的なケースを確認しないとわからない点があることは否認できない。

運用の中で、混乱を来さないようしつかり定義を位置づけていく。

この取り組みは、JA伊達市など6団体が参加する「北海道伊達市の農業パワーアップ推進協議会」が平成28年度のみのプロモーション事業のために電通北海道とneet h特別共同企業体に委託して企画が進められ、市職員や観光協会職員、観光物産館スタッフによって活

動が展開された。
主なプロモーション活動として、札幌大通ビッセなどでの伊達野菜直売会、札幌市中央卸売市場消費拡大フェア、国内外の販路開拓調査を行った。
農業後継者の確保・育成に関する活動では、新農業人フェアに参加して伊達ブースを設け、就農に興味のある方向けの相談窓口を設けたところ相談に来られた方がその後伊達市での短期体験につながった。
以上、大都市における継続した流通販売への問題点や新規就農者獲得に向けての問題点などを確認した。





委員長 篠原一寿

予算決算
常任委員会

質問▼整備費において過疎対策事業債の利用ができなくなり、一般財源をあてることになつた理由は何ですか。

平成28年度伊達市一般会計補正予算(第7号)の審議内容について、主なものは次のとおり。

■小中学校アスベスト対策改修事業について

審査の中では、

質問▼これまでの管理状況はどうだったのか。また、財源の確保はどうなつてているのか。

答弁▼平成17年度に伊達小学校、東小学校で暖房用の煙突からのアスベストの剥離があつたため、それ以降毎年、使用前に気中測定を行い、いずれも基準値内であることを確認した。

また、国の学校施設の交付金を申請中である。

■大滝サービスステーション整備事業について

伊達赤十字病院に対する補助金と財政措置について

答弁▼伊達赤十字病院に対する2億円の補助金は今年で7年連続となりました。この財源措置としてこれまで国からの特別交付税が60%近くあり、残り40%が市の持ち出しでした。が、国の算定方法の見直しがなされて今年度については特別交付税措置が20%程度となりました。大きな要因は精神等特殊医療に係る措置が都道府県に一元化され、市町村に措置されないことになつたものです。

が、質疑では道に対ししてその分、措置を求めていくとの答弁がありました。



答弁▼国と道との協議の中で、民間営利企業に過疎対策事業債を充当するのは好ましくない。また、利用者が大滝区民だけないと判断されたためである。

主な事業は

事業名	予算額	事業概要
経済対策臨時福祉給付金	1億4,250万円	低所得者の負担軽減を目的とした経済対策臨時福祉給付金の給付
水産系堆肥運搬等経費	985万5千円	水産雑物の処理量が増え安定的な堆肥化処理を確保するための堆肥センターから胆振西部衛生組合跡地へ土壌改良材としての搬出及び整地経費
共同利用全自动ほたて耳吊機導入事業補助金	4,635万円	いぶり噴火湾漁業協同組合に対する全自动ほたて耳吊機導入費の補助
大滝区サービスステーション整備事業	7,302万円	「ホクレン大滝給油所」の既存施設を譲り受け、同一の場所で給油所を整備するための建設に係る費用
小学校アスベスト対策改修事業	4,536万円	4小学校の暖房用煙突断熱材にアスベスト使用の可能性が高いことから煙突の囲込み新設工事を行う
中学校アスベスト対策改修事業	3,402万円	3中学校の暖房用煙突断熱材にアスベスト使用の可能性が高いことから煙突の囲込み新設工事を行う

■平成28年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市下水道特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市介護保険特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市簡易水道特別会計補正予算(第3号)

■平成28年度伊達市水道事業会計補正予算(第2号)

以上5会計の補正予算は原案のとおり可決しました。



28年度成行行政視察報告

新政クラブ

『期間』
10月17日～10月20日

佐田犬辻吉寺
藤中塚浦村島
匡秀貴義俊
則幸敬浩幸徹



公明党

菊山田
渡辺雅子
清一郎 勇

市民クラブ

堀篠阿国
原部本一
博一正一
志寿明夫

会派創生

『その他の視察場所』
◎千葉県鎌ヶ谷市にて「議会改革」について
◎神奈川県鎌倉市にて「フェイスブック活用の1192人のかまくらさん」について

『期間』

8月25日～8月26日

北海道上士幌町

▼「ふるさと納税全国まちづくりサミット」in上士幌▲



行政視察報告

伊達市同様の地域循環型のポイントカード（スキップカード）を導入している遠野市を視察した。品物を購入した際はもちろん、認知症予防という観点からタニタの活動量計を活用しているとのこと。活動量計を活用していくとのこと。活動量計を活用していくこと。生

度は2万ポイントに上げ、益々の健康寿命の延伸を図りたいとのこと。ポイント上限の設定や活動量計の活用など、体を動かして健康になり、なにおかつポイントで買い物ができるという市民にとって一挙両得で、な

などの自宅内での日常的な動き、生活動作を数値として計ることができ

る小さい端末をポイント還元につな

がっていることであった。

伊達市同様の地域循環型のポイ

ントカード（スキップカード）を導入している遠野市を視察した。品物を購入した際はもちろん、認知症予防という観点からタニタの活動量計を活用しているとのこと。活動量計を活用していくこと。活動量計を活用していくこと。生

度は2万ポイントに上げ、益々の健

康寿命の延伸を図りたいとのこと。ポイント上限の設定や活動量計の活用など、体を動かして健康になり、なにおかつポイントで買い物ができる

という市民にとって一挙両得で、な

おかつ魅力ある街づくりの形を学ぶ

二日目は神戸大学大学院経営研究科准教授、保田隆明氏の特別講演に続いて、6自治体の事例発表

があつた。

「ふるさと納税」の全国受け入れ額が平成26年度388億円から平成27年度1652億円と5倍になつたのは返礼品の普及、定着と自治体が募集する「ふるさと納税」を財源とする事業を納税者が選択できるのが大きな要因のこと。事例発表では、どの自治体でも「ふるさと納税」制度によって地域の課題解決及び地域力が高まつたと発表されていた。

本市でも「ふるさと納税」の寄付者に返礼品制度を設け、本市事業を選択できる方策も一考である。



高齢者、大学生、障がいのある人などが分け隔てなく、共に手を携え、家族や仲間、社会に貢献で暮らす街それがシェア金沢である。

総面積は約1万1千坪の敷地内に人が直につながり支え合い、共に暮らす街それがシェア金沢である。

◎新潟県上越市にて「直江津中等教育学校の概要」について

市街地拡大を図る宇都宮市では、超長期(30~50年)を見越した「ネットワーク型コンパクト・シティ」形成に取り組んでいる。放射状に延びた道路網で結ばれている市の形状を活かし、鉄道・バス・LRT(ライトレール・トラジット、軽量軌道交通)など公共交通の整備が行われ

▼「私がつくる街シェア金沢」▲

石川県金沢市

期 間
10月30日～11月2日

きる街、かつてあつた良き地域コミュニティーを再生させる街とするため、いろいろな人とのつながりを大切にしながら、主体性をもつて地域社会づくりに参加している。

住人同志の交流はもちろん地域の住民も楽しく集える街として、天然温泉レストラン・ライブハウスなどのアミューズメント施設、人と人との交流を楽しむ施設など多くの機能が備わっている。

期 間
8月3日～8月5日

▼ネットワーク型コンパクト・シティの形成について▲

栃木県宇都宮市



「シェア金沢」金沢市にて

◎新潟県長岡市にて「多世代健康新まちづくり事業とタニタカフエ」について

本市でも「ふるさと納税」の寄付者に返礼品制度を設け、本市事業を選択できる方策も一考である。

渡原見雅子
渡辺正信

公明党

篠原一寿
阿部明夫

会派創生

吉野英雄
菊地清一郎

市民クラブ

ている。

伊達市を圏域とする西胆振地区一帯にとつても参考となる事例である。



宇都宮市にてコンパクトシティの取組について

この取り組みを下地として平成24年からコミュニティ・スクールの指定が行われた。コミュニティ・スクールと具体的な実践を行う地域青少年育成会議が両輪となつて地域の育てたい子ども像を描き行動連携している。「地元の宝を守る」と春日山城趾の松林美化に取り組む春日山中学校など、特徴ある活動を展開している。

間を使って毎日行う「花まるタイム」によって授業への集中力がつき、学力向上にもつながっており、さらに支援学級の先生がさらに工夫して、障がいのある子供たちの集中力を高めているとの話を伺った。コミュニティ・スクールの導入と共に、この手法が本市でも導入できたら良いと思った。

10年前からコミュニティ・スクールを導入している三鷹市で、そのノウハウをお聞きした。

コミュニティ・スクールを支えるボランティアはのべ約1万7千人。10年の節目を迎えて、ボランティアで関わってきた親御さんたちの生徒も卒業し、今後も同じように継続していくかという点が悩みとの話も伺った。

東京都三鷹市

▼コミュニティ・スクールについて▲

上越市では、平成20年からキャリア教育を目的に全中学校の2年生に職場体験活動（上越ゆめチャレンジ事業）がスタート。平成21年からは地域青少年育成会議を開設し、教育環境を整備した。

さいたま市では、佐賀県武雄市の公立学校とのコラボで話題となつた民間学習塾花まる学習会本部を訪問した。



花まる学習会（さいたま市浦和区）の教室の様子と
佐賀県武雄市での官民一体型小学校の取り組みに奔走
された花まる学習会の西部文啓さん

○その他の観察場所

埼玉県富士見市にて「入間東部広域斎場しののめの里」について



特集 議会を傍聴して

今回は、NPO法人大滝まちづくりサポーター（以下まちづくりサポート）理事長乗松良治さん、専務理事船橋俊雄さんお二人に議会を傍聴していただき、感想とご意見を伺いました。



■それは、どのようなやり取りで感じましたか。

乗松 やり取りの中から具体的な方策があまり出なかつたように思

います。例えば、旧北湯沢温泉小学校跡地、優徳パークゴルフ場の休止後の利用策など、市が考へている活用策が何も出なかつたし、引き出せなかつたと感じました。

■議会を傍聴しての感想をお伺いします。

■伊達市に対する要望などありますか？

乗松 今回初めて一般質問を傍聴しました。お二方の議員の質問を拝見しましたが、正直穩やかなやり取りで、物足りない感じがしました。

船橋 議会としてのチェック機能や政策提言の役割が充分果たされているのかという感じを受けました。



船橋 具体的な例を言いますと、大滝の道の駅フォレスト276をどう充実させるのかです。

当地で我々は冬にアイスキャンドル事業を展開していますが、道の駅のテナントなど関係者の総力を挙げた広がりがなかなかできないのが現状です。施設の改修を含めて伊達市には積極的に関与してほしいです。

また、大滝区内観光トイレを伊達市から委託を受けて維持管理しているのですが、施設の老朽化に対し補修をしていないので、壁や天井材が欠け落ちてくるなど危険な状態になりつつあります。これも大滝区の観光の将来像の中で、整備するモノは整備して、必要なものは廃止するなど方策を示して欲しいです。

乗松 また、温泉を利用して冬の客を誘致できる施設、バイナリーエネルギー発電施設を活用した全天候型サッカーフィールドの建設を強く望みます。バイナリー発電は、視察にも行つてきましたが、大滝の温泉の特性にあつた方法もあるはずだし、売電によつて施設のランニングコストを賄う考え方もできます。

大滝の財産でもある温泉の有効利用も考えてほしいですね。

■そのために必要なことは何だと思いますか？

乗松 大滝区の振興を考えるプロジェクトチーム的なものを市で立ち上げて、大滝区内の事業者にも参加してもらい議論すると共に大滝のこれからを考える部署を作つてほしいです。

たとえば、農産物の加工場的なものを整備するなどがあります。船橋 伊達市側からの一方的な話ではなく、関係者がひとつのテーマについて建設的に話し合える場が必要です。過去にも、いろいろ

な会議がありましたが、総花的な話になつて、将来像を見い出せませんでした。より具体的に、どの施設はどうしていくなどを市の担当者も含めて、関係者で話し合うべきだと思います。

■今議会では指定管理者の指定について議論がありました。その中では管理団体側の努力と工夫が足りないのではないかという指摘もありましたが、そもそもまちづくりサポー^トは日頃どんな活動をされているのでしょうか。また議会の厳しい意見に対してもどのように受け止めていますか。必要なことは何だと思いますか？

船橋 まちづくりサポー^トは、大滝区の交流人口増加を図るために「まちづくり」に関わる事業を推進するために設立され、伊達市から2つの指定管理事業と3つの委託業務を含む13事業を展開しています。

パークゴルフ場やサッカーフィールドの運営管理や観光トイレ、支所庁舎の清掃、「スポーツツーリズム」振興

興や子ども向けの「クワガタふれあい」事業、冬の「アイスキャンドル」事業などが、その主なものです。私たちの努力と工夫への厳しい意見は受け止めますが、委託された仕事を毎日滞りなく行っています。

パークゴルフ場の利用者の激減が著しい状況の中でも優徳は若干収入増でしたが、大型ホテルの大改修とバス代の高騰が大きく影響しました。それを補うために理事長は札幌へ営業にも行っています。



「NPPO法人 大滝まちづくりサポート」事務所

乗松 大きく入込数を減らした分を補うためにパークゴルフ三昧のセールスなど、集客の営業をしています。一度断られたからといって諦めることなく、粘り強い営業を心がけており、これからも頑張っていきます。

船橋 利用時間前のお客様には、自分が行って対応したり、後払いにしていただいたら柔軟な対応で利用者の増加に心がけています。また、議会でも話題になつたフェイスブックなどSNSは活用していきたいです。



■市長の答弁の中で、「企業研修」という言葉がキーワードになると感じますが、どう思いますか。
乗松 そうですね。企業研修の中身を調査して、対応できる設備・人材研修が必要かもしれませんので、研究します。

■今回はお時間をいただき、ありがとうございました。

■市長の答弁の中で、「企業研修」という言葉がキーワードになると感じますが、どう思いますか。

乾小路の歌碑

(乾町東通り沿い)

表紙の写真説明

「主君、邦成公を信じ、いかなるときにも搖るが、堅い決意をもつて進むならば、われわれの事業は成功し、作物もよく根付き、繁栄は間違いない。この地に入るあなたがたが、このことを実践し、有珠開拓の模範となっていただきたい」というのがこの歌の意味。「乾」は「いぬい」と読み、戌と亥の中間に北西の方角の呼び名で、易学上の吉方となっている。

(平成元年8月16日建立)



年さむき

色かへず

霜の後にも

みどりも深く

さかう松ヶ枝

松ヶ枝丁の歌碑

(松ヶ枝自治会館前)

右の写真説明

「もう数え切れないほど
の寒い冬をくぐり抜けな
がら、色が変わるどころ
か、松は一層緑を増し、
幹も枝もますますたくま
しさを加えていく。松は、
昔から長寿と繁栄を表す
めでたいものとされてい
るが、松ヶ枝に住む人々
も、そのように強くた
くましく繁栄してほしい」

亘理の文人佐藤修亮が
伊達邦成公の命を受けて
詠んだ。

(昭和61年1月1日建立)

視察にお見えになりました。

H28.11.8
兵庫県
伊丹市議会
次世代エネルギー
パーク事業について

H29.1.16
北海道
登別市議会
議会改革につ
いて



伊達市議会だよりを前回からカラーにしたところ、市民の反応は様々だった。真っ先にコストを指摘する人もいたが、多くは見やすくなつたと嬉しい評価をいただいた。来年度もカラー紙面を提案していくが、何より市民に求められているのは「中身のある議論をしているか」「市民のための議論をしているか」だから、読みやすくなつたけど中身がないと言われないよう、がんばることは言うまでもない。

小久保重孝

広報常任委員会
(8人)

委員長 阿戸 孝之
委 員 小久保重孝 渡辺 雅子

副委員長 佐藤 匡則
田中 秀幸 山田 勇 堀 博志 阿部 正明

●お知らせ information

●議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、2月27日(月)から開催され、一般質問は3月3日(金)と6日(月)を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

●会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』をご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

編集後記

3年後に迫った東京オリンピックの開催は莫大な費用に対する賛否はあるけど、多くの国民が楽しみにしている。

「半世紀前は白黒テレビで見た。2

020年までは生きていなくちゃ」と真顔で言うおばあちゃんはいるが、今度はカラーテレビで見たいなんて言う人はいない。それだけテレビはカラーが当たり前になり、8KやVR(バーチャル・リアリティ)など映像技術の進化は留まることがない。

しかし、新聞をはじめ世の印刷物は、カラー印刷の技術が当たり前になつた今でも白黒だ。技術が淘汰された中で余計なコストを使わずに最適な選択をしているのかも知れない。

伊達市議会だよりを前回から